

寅さん歩 その17



ドイツ散歩-5

平野 武宏



【ハイデルベルグ】

2017年6月12日(月)

ホテルにチェックイン、荷物を置き、大勢の学者を輩出し、多くの詩人に賞賛された街を歩きました。時間の節約でランチは歩きながらサンドイッチを食べ、すっかり外国人風です。ビスマルク広場から「哲学者の道」を目指しました。



ホテル



ビスマルク広場



地図の上が哲学者の道、下に下りて、橋を渡り、ケーブルカーで上がると、ハイデルベルク城です。
 哲学者の道（写真下左）とその下り口（写真下右）です。





写真上の「哲学者の道」からの眺めには、言葉が出ず、ただ見とれていた寅次郎でした。戯曲「アルト・ハイデルベルグ」の舞台です。下に見えるカール・テオドール橋、通称「アルテ・ブリュッケ（古い橋）」まで下りて、丘の上のハイデルベルグ城（ゲーテも愛したドイツ屈指の城）にケーブルカーで上がりました。1788年に造られた「アルテ・ブリュッケ（古い橋）」の彫刻も見ごたえあり。



写真下は城見学の帰りにビールを飲んだマルクト広場とケーブル乗り場です。往復と城入場料で7€, 券は差し込んで抜かなければならないのですが、メンバーの一人が抜かずに置いてくるハプニング。城の入場は認められず、新たに城入場券を買いました。ケーブルカーの下りは駅係員に領収書を見せて乗れました。(€=EU ユーロ、現在 1€=130 円程度)



マルクト広場



ケーブル乗り場

ハイデルベルグ城はひとつの城というより、城壁と塔、庭園、そして代々の選帝侯が中庭を囲むように建てた城館の集合体というべき城です。元々は城砦として 13 世紀頃に建てられたといわれ、戦争の舞台になり 18 世紀には廃墟、石切場に成り果て、19 世紀頃から荒城のロマンに魅せられた人々により現状維持保存の努力がなされ復元、今や観光名所とのこと。

写真下は代々の選帝侯が建てた城館です。写真下右は 1903 年に復元されたフリードリヒ館です。



写真下左の写真の建物の右手がテラスになっており、写真下右はテラスから見た旧市街です。テラスからの眺めも素晴らしいです。右の山に哲学者の道があります。



写真上はオットー・ハインリッヒ館。

写真上右はワイン貯蔵用の世界最大規模の大樽。

(領民から税として集めたワインの貯蔵用に使用とのこと)

ケーブルカーで下り、給水（ビール）休憩の後、旧市街地をホテルまで散歩しました。写真下右はハイデルベルグ大学の校舎のようです。



帰り道には教会のような建物が並んでいましたが、建物名は不明。



夕食はホテル近くの
のレストラン。
(写真下)
サラダ・パスタ・
ビール込 17€



今日のホテルはエアコン、冷蔵庫、
ウエルカムの水、コーヒー、紅茶
湯沸しが揃い、今までで一番良い。
バスタブもあり1週間ぶりに首まで
浸かった入浴に大満足の寅次郎です。
写真右はホテルから眺めた風景です。



[ハイデルベルグ～ニュルンベルグ]

6月13日（火）

ホテルの朝食です。右はデザートです。朝食（宿泊費込）をしっかり食べると昼食が軽くて済みます。



ハイデルベルグ中央駅からシュトゥットガルト中央駅で乗り継ぎ、ニュルンベルグ中央駅に向かう予定ですが、鉄道の時刻表に変更あり、出発が早まりました。でも途中での遅れもあり、当初の予定通り 12 時過ぎ到着。ランチは駅で買ったサンドイッチ（3€）を車内で済ませました。



ハイデルベルグ中央駅ホーム



本日のランチ

午後のニュルンベルグ（ヒットラーが愛した街）散歩は次回です。

次回は ドイツ散歩-6 です。

平野 寅次郎 拝